



花北青雲PTA会報

第102号

発行：令和2年10月 花北青雲高等学校PTA広報委員会



体育祭 (8/27~28)

〒028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割1825番1
電話 (0198)45-3731(事)・3732(職) FAX (0198)45-3745(事)・3746(職)
URL: <http://www2.iwate-ed.jp/hkb-h/>



ご挨拶

PTA会長 青木 俊樹

会員の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。今年度PTA会長をさせていただきまます青木と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学

校行事をはじめ各種クラブの大会が開催できない状況が続いております。生徒たちが努力してきた成果を披露する場が奪われてしまい、行き場のない思いを抱えている生徒も多くいることと思えます。また、父兄の皆さんに於かれましては晴れの姿を見ることがで

きず残念に思っている方も多々と思えます。岩手県でも全国より半年遅れて感染者が出る状況で今後の学校行事にも影響を及ぼす恐れが依然として続いている状況です。感染拡大防止を学校としても取り組んでおり、皆さんのご理解とご協力での今のところ無事に学校運営が出来ていることに感謝申し上げます。3年生はこれから進学・就職の試験を控えており益々不安が増えることもあるかと思えます。このコロナ禍を乗り切るために生徒に

寄り添い少しでも不安を取り除いていけるよう親として見守っていきたくと思えます。最後に、このコロナ禍で感染者をSNSで特定し、誹謗中傷をする行為が問題となっております。花北青雲高等学校の生徒にはどんな時も優しく、人の痛みが分かる人になってもらいたいと願っております。この困難に立ち向かっている皆さんは必ず報われる時が訪れるはずですので。皆さんと一緒にこの難局を乗り切っていきましょう。



校長挨拶

校長 太田 優子

日頃より、本校の教育活動に対しご理解と温かいご支援を頂き深く感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、校内外の多くの活動が中止や延期、規模縮小となっております。中でも部活動は、4月～6月にかけて実施予定の大会がほぼ中止となり、特に3年生は非常に悔しい思いを抱えた日々であったと思います。しかしそのようなかでも、これまで練習で培ってきた力や各部の良き伝統を上級生は後輩に伝えており、積み重ね

てきた日々の実践は確実に次へとつながっています。6月から延期となっていた体育祭は『健康総体』をスローガンに掲げ、感染防止対策と熱中症対策を両立しながら、8月末に実施することができました。様々な制約の中にあっても、明るく前向きに学校生活を送っている姿に、青雲生の力強さを感じているところです。種々の活動状況は、学校ホームページの『青雲だより』やtoppics欄の『学校情報誌』にアップしていますので是非ご覧ください。

PTA活動においても、5月の総会をはじめ、県や東北・全国大会などが中止となりました。今年度は吉田豊前会長から青木俊樹会長にバトンタッチされ、実施可能な範囲で活動を行っていただいております。例年とは異なる状況ですので、活動に関して不明な点等ありましたらお問い合わせください。また、この場をお借りして、退任された吉田前会長はじめ役員の皆様に心より御礼申し上げます。8月30日に、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けた文部科学大臣からのメッセージを生徒に配付し指導しました。新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があり、ます。感染者や濃厚接触者とその家

族、医療従事者の方への差別や偏見、誹謗中傷等は許されることではありません。保護者の皆様へのメッセージも生徒を通じて配付しておりますので、今一度ご覧いただき、今般のような非常時における心の持ち様と行動についてご指導ください。また、お問い合わせはHPで閲覧可能です。感染症への対応が長期にわたることが予想される中、学校では対策を講じつつ教育活動を進めているところです。今後の状況も予断を許しません。「知」「徳」「体」を備え、変化の激しい時代に逞しく生き抜くことのできる生徒の育成に努めて参る所存ですので、PTA会員の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

進路指導部より

進路指導部長 三浦 秀樹

今年度は新型コロナウイルス感染症により混乱している世の中だが、9月の公務員試験を皮切りに3年生はいよいよ進路を決める時期がやってきた。今年の3年生は進学希望者、特に4大希望者が例年よりも多く、学校推薦型選抜・総合選抜入試対策に取り組んでいるところである。入試日程を延期した大学もあるが、特に大きな影響は受けていない。10月から行われる試験にむけて、志望校の決定も含めてラストスパートをかけている。公務員希望者は昨年10名合格という実績を残し、今年度も例年より多くの希望者が毎日の課外授業や模試にむけて取り組んでいる。例年よりも倍率が上昇することが予想されるが、生徒は合格を信じて最後の追い上げをしている。

就職希望者は46名と昨年までと比較して大幅に減少している。求人数も約2割減となっているが、幸いにも本校生徒が希望する会社からはほぼ求人があるので、受験のスタートラインに立てたことは何よりであった。しかし、求人数の枠は減少し倍率が高くなり、まさに厳選採用となるであろう。総学の授業では企業研究や面接練

習・履歴書記入練習等を、他にもSPI講座・職場見学会参加等、例年と同様の対策を講じている。周知のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国の多くの学校が休校になったことにより統一選考開始日が例年より1か月遅れの10/16となっている。各企業もそれに準じて見学会の実施を9月上旬まで実施するなど、就職希望者は今まさにどの会社を受験するか検討中である。関東方面の会社見学会は全て中止かりモート実施となり、県内でも実施しない会社もあった。そんな大きな不安を抱える中での受験となるが、今後の自分の人生を決めかねない大切な試験にむけて、対策に全力を尽くした毎日を送っている。

今年度は2年生が例年夏季休業明けに実施しているインターンシップも中止となった。来年度以降の求人は不透明である。新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の経済活動の停滞を通じて雇用・就業に多大な影響を及ぼすことが懸念されている。こうした様々な影響を受ける中で、1・2年生は来年以降の進路活動となるが、今から出来るだけ欠席をせず成績を向上させ、部活動に一生懸命取り組むこと、つまりは学校生活を充実したものにできるように生活することが今一番大切なことだと自覚してもらいたい。

3年生139名全員の進路希望が叶えられるように、進路指導部として献身的に指導していく所存である。

環境美化活動

PTA環境整備活動を通じて

環境整備委員長 宮原恵美子

去る7月27日(月)16時より、石鳥谷駅周辺の清掃活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響があり、活動自体も危ぶまれましたが、市・駅にも御了解を得まして、駅構内・地下通路の清掃と、駅東口・西口の草取りやゴミ拾いなどを行うことができました。

今年度は、参加希望者の人数を限定し、3年生を主とした有志生



徒の皆さんとで、マスク着用などの感染防止対策をとった中での活動となりました。

当日は雨予報でしたが、石鳥谷駅周辺は活動終わりまで空が我慢していてくれたようで、閉会時、強い雨がいきなり降り出し、地下通路片側を使用させていただきました。蒸し暑がらの閉会となりました。蒸し暑く、そして雨に濡れ・・・ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

さまざまなきょうが思うようにはできない夏でしたが、自分たちができる中で感謝の気持ちの伝え方ができたのではないかと思います。今後、こういった活動が後輩の皆さんに引き継がれていくといいなと思います。私も三年間活動に参加させていただきまして、本当にありがとうございました。

一筋の道をゆく我等

岩手県夏季陸上競技大会を振り返って

陸上競技部 平野 悠斗

私は、7月4日から北上で行われた岩手県夏季陸上競技大会に出場してきました。

今大会は高校総体の代替大会ということもあり、いつもにも増して緊張感のある大会でした。

大会当日は雨の中での競技でしたが、今シーズン最初の大会ということもあって、体だけでなく気持ちも良い状態で当日を迎えることができ、自己記録を更新する跳躍で初めて優勝することができました。

今年新型コロナウイルスの影響で部活動に多くの制限がかか



り、3年生にとっては厳しい時期でしたが、その分仲間や先生方、そして家族の支えがとても大きく感じられた期間でもありました。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも良い記録で応えられるよう頑張っていきます。

陸上競技部 佐々木 雅

新型コロナウイルスの影響で数々の大会が中止となる中、7月26日から行われた岩手県選手権大会に出場しました。例年に無い7月にシーズンインということで、不安が多い中での試合でしたが、47m85で、優勝することができました。自己ベスト

を出すことができず記録は納得するものではありませんでしたが、助走のスピードや投げの安定、試合中の修正力など、自分が課題としていたことができたと思います。

私は、1日優勝を目標にしていま



「女子の投げで優勝したことが、試合中に足の位置や投げのタイミングができていたことに驚き、練習で意識していたことが、試合で発揮されたことに驚いた。」

△岩手日報 令和2年7月27日



したが、1日中止が決まり目標を成し遂げることができなくなり、悔しくやるせない気持ちになり、競技をやめようかとも思う時もありました。しかし、そんなときでも声を掛けて支えてくれた家族、顧問の先生、指導してくれたコーチがいて私はまた記録を残すことができました。また、このような状況の中でも大会を開催してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。改めて恵まれた環境にいることに気づきました。10月に行われる全国高等学校陸上競技大会では岩手県記録を狙い結果で恩返しできるように頑張ります。



岩手県ソフトボール

交流大会を振り返って

ソフトボール部 工藤 彩夏

新型コロナウイルスの影響で岩手県高総体が中止となりました。

選手3年生4名、2年生6名、1年生8名、マネージャー4名の部員22名と2名の顧問の先生方で「度肝を抜く」ということを目標として活動してきましたが、今まで練習してきた成果を見せる場を失いました。そんな中、高総体の代替大会となる交流大会の開催が決まりました。3年生としては進路のこともありましたが、集大成となる大会であること、最後にプレーしている姿を家族に見せられること、大好きな先輩たちと一緒に大会に挑めることがただ嬉しかったです。

新体制を向かえての大会でした。最初は固さも見られました。が、だんだんにみんなが自分らしいプレーをすることができました。天候に左右されながらも、ベスト4まで勝ち上がりました。「いざ準決勝！」と意気込みましたが雨のため中止となりました。四校同時優勝というなんとも言えない結果になりました。しかし、最後の最後まで楽しくみんな笑顔でプレーすることができました。「花北青雲のソフトボールは見ていて楽しいし、応援したくなる」と周りの方から言ってもらったこと



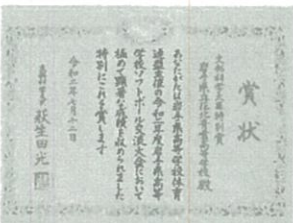
一丸となった夏

野球部 新淵 隼尊

私たち花北青雲高校野球部は三年生五名、二年生十五名、一年生十三名で活動してきました。私たち野球部の三年生は、他の高校の三年生と比べると少なく、また先輩は個性の強い集団だったので、選手同士でぶつかることがよくありました。私自身このチームをどうまとめめるか、とても悩みました。しかし、今年の四月の初め、選手間でミーティングを行い、春の大会に向けて、もう一度強く団結できました。その春の大会は、新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいましたが大会は絶

もできました。今まで指導してくださった先生方のおかげです。たくさんの方々を支えられ、励まされながら充実した部活動を送ることができました。高校での部活動で培ったことをこれからの社会人生活で生かしていきたいと思えます。今まで本当にありがとうございました。

これから新型コロナウイルスの影響がどこまでくるかわかりませんが、後輩たちには、この大会で実感したソフトボールの楽しさと、たくさんの方々に支えられていてこれを忘れずにこれからも頑張ってもらいたいと思います。



▷若手日報
令和2年7月14日



高田 初回5安打5点

花北青雲 最後まで全力



対あると信じて、気持ちをやめず練習し、夏の大会を迎えることができた初戦の相手は遠野高校でした。昨年秋には負けた相手でした。大会前、もう一度全員で気を引き締め団結しました。遠野高校は粘り強く、自分たちがいくらか点数を取っても追いついてきました。延長に入り、焦りもありましたが、最後は、みんなの応援が自分の心に届き、サヨナラ打を打つことができました。この流れを県大会初戦の高田にもぶつけていきましたが、残念ながら力及ばず敗戦してしまいました。

敗れはしたものの全員で一致団結した夏の大会は、一生忘れられない宝物になりました。

そして、柳谷先生、新沼先生、松浦先生、高松先生、且野先生。今までご指導ありがとうございました。また、応援してくださいました保護者の皆さん本当にありがとうございました。

ささやかな壮行会

応援団長 小笠原 凜

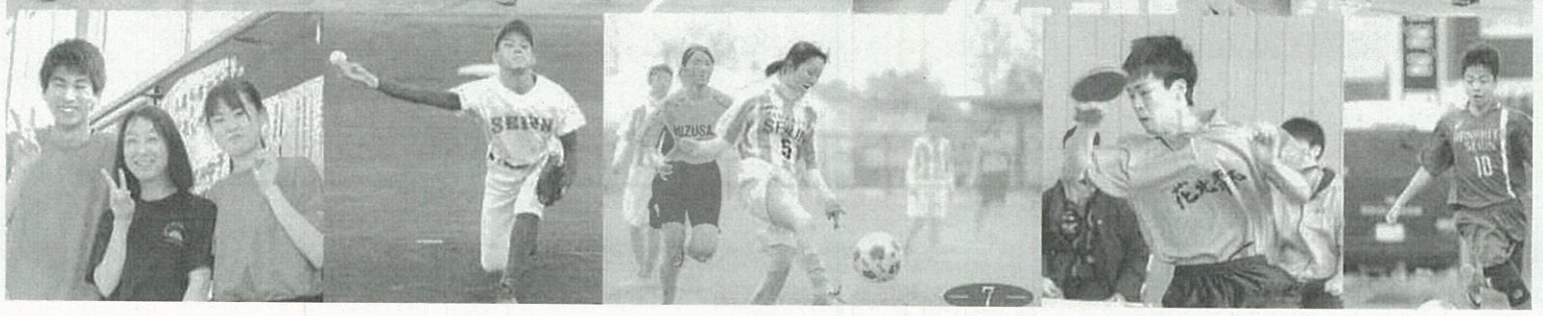
今年は、新型コロナウイルスの影響により、4月恒例の応援歌練習が中止となり、高総体や甲子園県大会も中止となり、何のために応援団長になったかわからない日々を過ごしていました。そうしただ中、7月に甲子園大会県大会の



代替大会である夏季岩手県高校野球大会が開催されることになり、本校の部室前広場でささやかながら、野球部の壮行会を開催することになりました。例年ならば、本校の体育館で全校生徒が高総体や甲子園県大会に出場する選手を盛大に壮行し、野球場では全校生徒が野球部の応援するはずでした。感染対策で制約がある中、本校応援団でささやかな壮行会を開催し、野球部員を励ますことが出来たと思います。そして、応援団としての責任も果たすことができ、うれしく思いました。壮行会であいさつされた太田校長先生、多田生徒会長、壮行会を企画された顧問の内館先生をはじめ関係の先生方々に感謝いたします。

活動 PHOTOGRAPH





花北青雲高2020夏

岩手日報

岩手日報社
〒980-0801 岩手県盛岡市大町1-1-1
TEL:0196-33-1111
©岩手日報社2020

特別号外

日休なく
掘るつぜ!



3年生の 名簿は裏面に



躍進と飛翔を胸に 輝け次のステージへ

仲間と過ごす高校最後の夏を、最高の笑顔で。

花巻市石鳥谷町の花北青雲高（太田優子校長、生徒455人）

は7月21日、高校3年生を集合写真で応援するプロジェクト「#みんなで撮ろうぜ!」の撮影を行った。生徒たちは3年間切磋琢磨してきた仲間とともに、とびきりの笑顔を写真に刻んだ。

同校の3年生は139人。明るく前向きな生徒が多く、部活動や検定資格取得、地域清掃などにも意欲的に取り組んできた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、部活動の大会やコンクールなどが中止になったため、仲間と積み重ねてきた思いを形に残そうと、生徒会が発案し撮影を申し込んだ。

悔しい思いをした分、残りの学校生活や進路実現へ向け、たくましく羽ばたいていけるはずだ。

生徒会長の多田葵さんは「運動部・文化部ともに大会などがなくなり落ち込んだが、励まし合う仲間の大切さを知った。これからは入試や就職に向けて一緒に頑張っていきたい」と前を向いた。

2020夏!

がんばっている君たちを応援します!

Since 1950
東北銀行

〒980-0801 岩手県盛岡市大町1-1-1 TEL:0196-33-1111
http://www.dobai.co.jp/

花北青雲高3年生の名簿

【硬式野球部】

東飛和、高橋広大、長坂洗次郎、藤原芽衣、新淵隼尊

【男子サッカー部】

照井丈、小原陸、青木涼馬、小笠原凜、菊地一朋、菅原尋斗

【女子サッカー部】

大熊爽、菊池千央、島山瑠夏、平賀碧海、杏掛悠璃、永山夏梨、藤原彩香、小原沙月、菊池理々、田村心愛

【男子ソフトテニス部】

高橋凌紀、島山颯也、細矢怜史、松本見汰、阿部堅也、岩田信之輔、菊池溪太、伊藤智陽、菊池哲世、斉藤寿情、伊藤心響

【女子ソフトテニス部】

川村理子、八重樫美空、浅沼菜桜、阿部遥、佐々木万智、田沼未菜

【ソフトボール部】

高橋都、田中楓、宮原颯希、工藤彩夏、齋藤姫菜、玉山綾夏

【男子卓球部】

金澤有喜、菊池圭悟、小田島和希、佐々木大輔、半田寛将、前川尚潤

【女子卓球部】

林純花、藤原歩未、吉田千笑、吉田愛理、黒澤陽世里、佐々木佑花、高橋真耶

【男子バドミントン部】

瀬川祐斗、長谷川祥大、菊池渡和、藤原絆夏、川畑光、菅原祐成

【女子バドミントン部】

小原望優、佐々木梨子、柴田佳歩、阿部陽菜、小原美咲、久保田未来、高橋美萩

【男子バレーボール部】

菊池香織、菅原賢斗、竹田翔太郎、徳田芽依、平野莉央、板垣貴哉、佐々木理友、高橋怜朗



【女子バレーボール部】

佐藤理恋、伊藤琳、菊池佳保、藤原藍加、穴澤佳奈、鎌田美優、川上美咲、山崎玲奈

【男子陸上競技部】

菊池賢人、菊池温人、小松宏夢、井上勇士郎、平野悠斗、吉田怜仁、島山源輝

【女子陸上競技部】

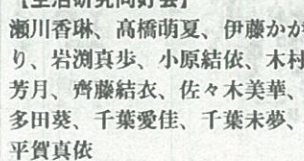
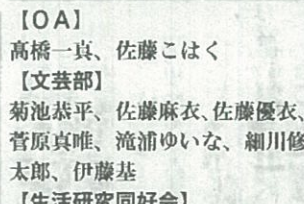
佐藤真凜、池田望真、小原あい、菅野春香、佐々木優希、三浦優里、佐々木雅

【吹奏楽部】

松田勝輝、鈴木葵唯、多田雄渡、石川蒼紫、川村龍平、木村美花梨、齋藤睦奈、大下美夏、釜本小雪、熊谷桃歌、高橋泉奈、似内心、藤根梨聖



←岩手日報HPはこちら



【OA】

高橋一真、佐藤こはく

【文芸部】

菊池恭平、佐藤麻衣、佐藤優衣、菅原真唯、滝浦ゆいな、細川修太郎、伊藤基

【生活研究同好会】

瀬川香琳、高橋萌夏、伊藤かがり、岩淵真歩、小原結依、木村芳月、齋藤結衣、佐々木美華、多田葵、千葉愛佳、千葉未夢、平賀真依

【工学研究同好会】

浅沼和哉、小野寺脩、小野寺来希、小原将弘、都島圭

(株)IBC岩手放送
岩手創価学会
北上信用金庫
下館建設(株)
(株)東北銀行
(株)陽だまり工房
宮古信用金庫
(株)八重樫葬具店

一沢コンクリート工業(株)
(株)岩手都市開発
(株)北日本銀行
白金運輸(株)
トヨタカラー南岩手(株)
藤正建設(株)
三八五通運(株)
(株)ヤマイチ

一関信用金庫
(有)宇部煎餅店
共立医科器械(株)
スマイルとうほくプロジェクト
パーソルテンプスタッフカメイ(株)
(株)ベルジョイス
(株)明和土木
(株)吉田印刷

(株)岩手銀行
(有)介護施設あお空
(株)小松製菓
(株)高良
花巻信用金庫
水沢信用金庫
盛岡信用金庫
陸中建設(株)

岩手県商工会議所連合会
(株)川徳
(株)佐々木製菓
つなぎ温泉病院
バルコホーム
宮城建設(株)
盛岡友愛病院
(株)岩手日報社

(順不同)



部活動の成績

サッカー部

【男子】
◆高円宮杯JFA U18サッカーリーグ i-LEAGUE
第1節 対盛岡南高校 ●0-1
第2節 対花巻南高校 ●0-1
第3節 対花巻北高校 ●0-1
第5節 対宮古高校 ●0-1
◆2020岩手県U18サッカー大会
対花巻南高校 ●1-3

【女子】

◆第26回岩手県女子サッカーリーグ
第5節 対高校合同 ●0-1 (勝ち点3) 1勝0敗
第7節 対高校合同 ●0-1 (勝ち点6) 2勝0敗
第8節 対不来方高校 ●0-1 (勝ち点9) 暫定2位
◆第33回岩手県女子サッカー選手権大会
対盛岡セラ ●0-25

陸上競技

【男子】
◆2020岩手県夏季陸上競技大会
走高跳 平野悠斗 1m91 優勝
◆2020岩手県陸上競技選手権大会
2部 やり投 小瀬川宗 37m14 7位
【女子】
◆2020岩手県夏季陸上競技大会
やり投 佐々木雅 43m82 優勝
◆2020岩手県陸上競技選手権大会
2部 やり投 佐々木雅 47m85 優勝
走幅跳 山田苑佳 4m47 5位

硬式野球部

◆令和2年夏季岩手県高等学校野球大会花巻地区予選
代表決定戦
対遠野高校 ●0-5 (延長11回サヨナラ)

◆令和2年夏季岩手県高等学校野球大会県大会
1回戦 対高田高校 ●2-12 (7回コールド)
◆第73回東北地区高等学校野球岩手県大会花巻地区予選
1回戦 対花巻南高校 ●7-8 (延長10回)
敗者復活戦 対花巻農業高校 ●2-7

ソフトテニス部

【男子】
◆岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技花巻地区予選
根子・佐々木 決勝 対花巻南高校 ●0-4
優勝 県大会出場
下留・畠山 対花巻南高校 ●0-4
7位 県大会出場
佐藤・三上 対花巻北高校 ●0-4
9位 県大会出場
団体 3勝1敗 2位 県大会出場
リーグ戦1 対花巻農業高校 ●2-1
リーグ戦2 対紫波総合 ●0-1
リーグ戦3 対花巻東高校 ●2-1

【女子】
◆第49回県下高校新人ソフトテニス一関大会
根子・佐々木 予選リーグ2-0 1位通過
1回戦 対盛岡市立高校 ●0-1
2回戦 対花巻南高校 ●0-1
3回戦 対盛岡第三高校 ●1-4 ベスト8

◆岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技花巻地区予選
八重樫・菊池 決勝 対花巻南高校 ●0-4
1位 県大会出場
米田・吉田 3位決定戦 対花巻南高校 ●0-4
4位 県大会出場
吉田・塚澤 5位決定戦 対遠野高校 ●3-4
7位 県大会出場
斎藤・佐藤 13位代表決定戦

◆第49回県下高校新人ソフトテニス一関大会
1回戦 対北上翔南 ●0-2
2回戦 対一関二 ●0-0
3回戦 対大船渡 ●1-4 ベスト8
米田・吉田 予選リーグ1-1 リング敗退
塚澤・佐々木 予選リーグ0-2 リング敗退
◆専門部夏季強化事業
八重樫・菊池 予選リーグ2-0 Aリーグ
1回戦 対一関学院 ●0-1
2回戦 対高田 ●0-4 ベスト16
米田・吉田 予選リーグ1-1 Bリーグ
1回戦 対金石 ●1-4
吉田・塚澤 予選リーグ0-2 Cリーグ
1回戦 対花巻北 ●0-1
2回戦 対宮古商工 ●0-1
3回戦 対久慈東 ●0-1
4回戦 対盛三 ●0-4 ベスト4
佐々木・大船渡東 予選リーグ0-2 Cリーグ
2回戦 対久慈東 ●3-4

◆岩手県ソフトボール交流大会(高総体代替)
1回戦 対北上翔南 ●0-21 (5回コールド)
準々決勝 対高田 ●0-9 (6回コールド)
4校同時優勝 文部科学大臣賞受賞

文芸部

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
岩手県高校生文芸コンクール
伊藤 彩水 詩部門 入選
伊藤 基 戯曲部門 優秀賞
岡田 旭 随筆部門 優良賞
滝浦ゆいな 短歌部門 入選
佐藤 麻衣 短歌部門 入選
花北青雲高校 部誌部門 入選

コロナ禍の 学校生活

令和2年
8月末まで

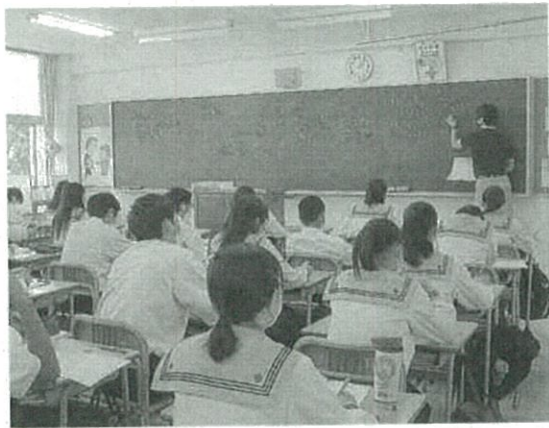
コロナ感染症

拡大防止対策について

副校長 小山 秀司

昨年度末から今年度にかけて、コロナ感染症拡大防止対策のため様々な行事が規模縮小か中止となりました。主なものをまとめてみました。

- 3/1 卒業式
簡素化し時間短縮をして実施
(在校生は係生徒以外出席させず
休みとした) この日から部活動禁止
- 3/4から休校。
休校の間中は感染予防のため基本的に自宅待機。
- 3/24 終業式・離任式 中止
転退職の先生とのお別れの会を時差登校で実施。(希望者のみ)
- 3年生(卒業生) 9:00~9:30
- 2年生 9:45~10:15
- 1年生 10:30~11:00
- 4/1 部活動を再開。
保護者の承諾を得て、次の点について留意して活動。



- ①朝、必ず検温し、体調について顧問(担当者)に報告。
- ②発熱、咳など風邪の症状がある場合は参加しない。
- ③手洗いや咳エチケットの徹底、公共交通機関での登下校時や活動の内容によりマスクを着用。
- ④免疫力を付けるため、十分な睡眠とバランスの取れた食事を心がける。
- ⑤活動終了後は、速やかに帰宅。
- 4/7 始業式
時間短縮・簡素化して実施。
- 4/8 入学式
時間短縮・簡素化して実施。
学校は再開しましたが「三密」を避けるため密な状態になる行事

- は行ってない。体育館には1学年(160名くらい)、大教室には二クラス(80名くらい)しか集まらない等対策を行った。生徒総会・終業式・始業式等は放送で行った。
- 4/13 登校時の密を避けるため時程の繰り下げ。
- 1校時開始を15分遅くした。
- 4/29 臨時休校
期間 4/29日~5/6 登校禁止、部活動禁止
他県では1ヶ月以上休校になった県が多いが、岩手の高校は4/30、5/1の二日間のみ授業がなくなった程度で済んだ。
- 5/15 PTA総会
新型コロナウイルス感染症対策のため議決は、書面議決で行った。議案はすべて可決された。
緊急事態宣言解除を受け
- 6/17 通常時程に戻す。
岩手県内でもコロナ感染者発生を受け
- 8/18 再び学校時程の繰り下げを行った。

《総務部より》

学校行事・PTA活動はコロナ感染症拡大防止の観点から、様々な点で変更となりました。



入学式では参加者の規模を縮小するために、来賓案内は2名に限定し、吹奏楽部と例年70名以上の校歌紹介生徒は参加せず、CDでの演奏に変えました。出席者には手指消毒とマスクの着用をお願いし、会場の換気を適宜行いました。また、社会的距離を確保するために、保護者控室と式場の座席を例年より広い間隔で設置し、時間短縮のために、祝辞はPTA会長のみ、祝電披露は掲示のみとしました。

PTA総会の持ち方についても、第1回PTA役員会・理事会で検討され、書面議決に変更になりました。



りました。その結果、提出総数433で、全ての議案が可決承認されました。その他、PTA研修旅行は理事会で中止が決定されましたが、青雲祭「おふくろ亭」は状況を見ながら検討することになり、その後中止決定となりました。また、石鳥谷駅周辺清掃は規模を縮小して実施することとなりました。また、県高P連定期総会は書面議決、東北地区高P連秋田大会と全国高P連島根大会は中止となりました。

《教務部より》

新型コロナウイルス感染症による生徒の学習活動への影響についてまとめます。

4月から岩手県の感染者が0人

であったため、北海道、南東北以南の地域と比較し、新型コロナウイルス感染症による生徒の学習活動への制約等は比較的少ない状況です。

まず、臨時休校については、県の方針（指示）に従って5月GW前の二日間のみで、学習内容や授業の進度については、大きな影響はありませんでした。診断テストや実力テスト、考査等については予定通りに実施しました。

しかしながら、感染防止の観点からソーシャルディスタンスに注意した座席の配置、対面的な授業形態を避けること、接触するような実技を避けることなど、三蜜を避けるための注意がそれぞれの授業において実施されています。



また、電車通学生が相当数を占める本校の実情を踏まえ、通学電車での三蜜を避けるため、始業時間を15分遅延し乗車可能電車の本数を増やすという取り組みも実施されています。

今後の状況によっては、県教育委員会が整備した遠隔授業の実施の可能性もありますが生徒の学習活動については、8月末の現状としては逼迫した状況ではありません。

《厚生部より》

厚生部では、全校生徒に対し、1月から7月現在発行の『保健だより』で、一貫して感染症対策の周知徹底を啓発してきました。

同時に、各教室、トイレ、手洗い場、生徒昇降口、パソコンのある教室などにアルコール消毒液や次亜塩素酸ナトリウム水溶液を設置し、新型コロナウイルス感染予防を行いました。

更に、体温記録簿と健康観察記録表を、非接触型体温計とともに、各学年のフロアの記入場所に置き、登校時にその日の体温と体調を記入させ、生徒の体調把握に努めました。

保健だより

新型コロナウイルス感染症予防
～学校の新しい生活様式～

一人ひとりの健康的な生活のために

【一人ひとりの健康的な生活のために】

【マスクの着用について】

【消毒薬の正しい使い方】

【換気の方法】

【手洗いの正しい方法】

【学校生活における感染予防のポイント】

日常の学校生活では、マスクの着用を徹底し、手洗いの励行とこまめな換気を実施しました。また、県から採用された緊急対策支援員に、校舎内の消毒業務を依頼しています。

そして、密集・密閉・密接を避け、換気に十分気をつけながら、身体測定、内科検診、歯科検診などに細心の注意を払い検診しました。7月時点では、秋に耳鼻科検診のみを残し、その他は順調に終えることができました。

広報委員会

委員長 川上翔
副委員長 佐藤絵理
委員 吉田智美
小原嘉一
阿部晃一
須川龍子

印刷所 清水印刷